

エリア会議が考える

J R 忍ヶ丘駅前将来ビジョン



忍ヶ丘駅前の新しいカタチを想像してみる。

めざすのは
≡駅前のにぎわい≡ と
≡滞留空間≡ の創出

忍ヶ丘駅前の未来を、
まずは試してみる。

駅前を「通りすぎる駅前」から「過ごしたくなる場所」へ。

エリア会議では、忍ヶ丘駅前に必要な機能や空間の新しい使い方についてアイデアを出し合い、将来の駅前像をイメージとして共有しました。

令和8年度は、そのイメージを実際の空間で試すため、「空間デザイン実験」と「イベント実験」を実施します。

新しい駅前のカタチ

01



使いたい、使いやすい 駅前空間。

「変える」と「残す」の選択

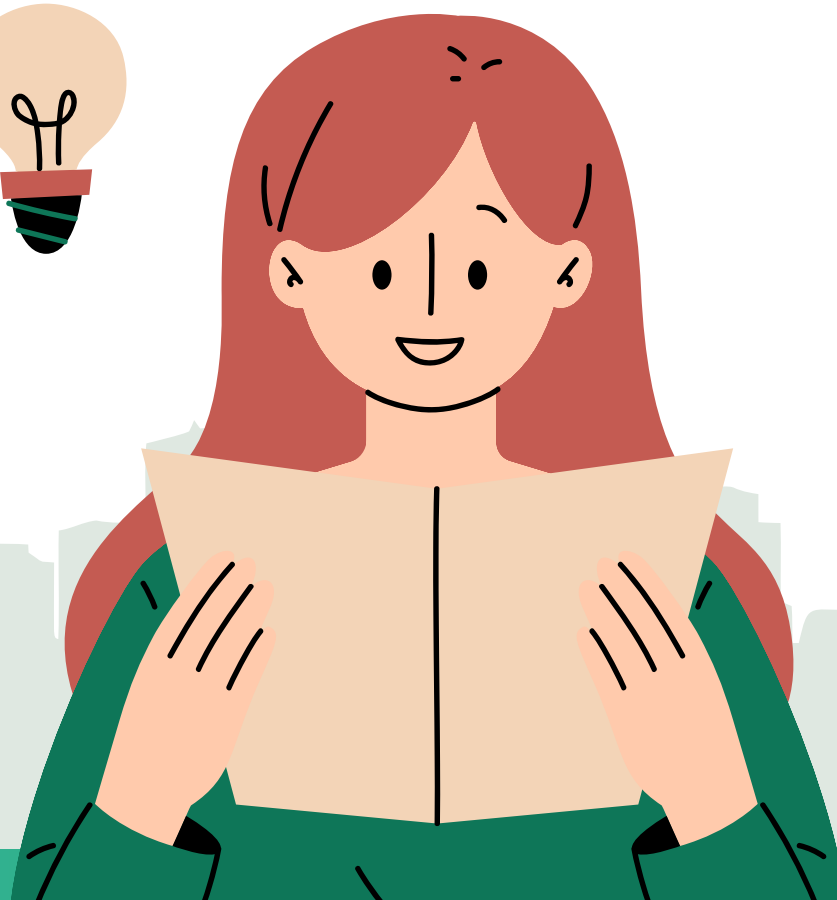
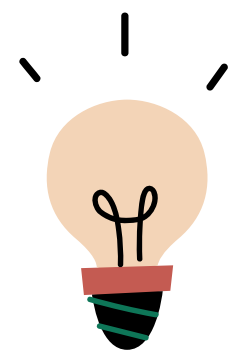
忍ヶ丘駅前整備後およそ30年が経過。

当時と今で変わるニーズと課題。

変えるべきカタチと残すべきカタチの選択について、メンバー間で意見交換しました。



変える、カタチ



使いやすい空間に `変える、



協議関係者や手続きを減らす

現在の駅前西広場は、道路空間。
道路だから必要なものと、道路だからできないことがあります。
道路のカタチを見直すことが、使いやすい空間の創出につながると期待します。



縁石や反射板の見直し

タクシー待合の縁石や道路中央の反射板。
道路に必要な安全のカタチが、イベント使用時に障害になることも。
今あるカタチの見直しで、道路の `日常、とイベントの `非日常、の共存へ。

使いやすい空間に `変える、



トイレや水道の整備

イベント時に必要なトイレや水道。
現在は、周辺商店や駅などの協力で成り立っています。
設置場所や管理方法など課題を整理する必要があります。



電源の確保

イベント時の電源確保は、発電機のリースなど
イベント運営の費用負担が増大。
使いやすい空間に向けて、電源確保がハードル
引き下げの鍵と考えます。

使いやすい空間に `変える、



街路樹や植樹帯の見直し

現在の駅前西広場は、歩行者安全確保や緑化の観点で広範囲に植樹帯が整備されています。一方で、イベント利用時には活用できる範囲が限られることから、カタチや範囲の見直しが必要です。



雨よけ・日よけ

イベント開催時に影響の多い `天候、天候に左右されない駅前空間の整備により、多くの方から利用したいと思ってもらえる空間になると考えます。

≡残す≡ カタチ



忍ヶ丘らしさを『残す』



住宅街と落ち着いた雰囲気

駅周辺にたたずむ閑静な住宅街と駅前の落ち着いた雰囲気は、忍ヶ丘らしさそのもの。
落ち着いた雰囲気と賑わいの調和のとれたカタチをめざします。



駅周辺のお店の魅力

駅周辺には隠れた地域の魅力がいっぱい。
駅前の賑わいを周辺の商店へ。
地域に寄り添う駅前空間のカタチを共創します。

『通りすぎる駅前』から
『過ごしたくなる駅前』へ

02



『日常』と『非日常』 の新しい使い方

忍ヶ丘駅前の新しい姿を思い描くなかで、私たちは、そこに生まれる時間に着目しました。

買い物や休憩、待ち合わせなどの「日常」の風景。

朝市やマルシェに人が集い、賑わいが広がる「非日常」の風景。

この2つの使い方を育む必要性を、メンバー全員で共有しました。



メンバーが思い描く『日常』の風景

03



大切にしたい 忍ヶ丘 〴〵らしさ、

〴〵日常、の時間が大半を占めるからこそ大切にしたい

- 地域から愛され、気軽に利用される駅前に
- 通勤、通学前のひとときに、ちょっと一息つける空間に
- ちょっと集まったり、語り合ったりできる空間に
- 大人も子どもも、お年寄りも誰もが安心して過ごせる空間に
- 都市部から帰ってきた人達が、改札を出てほっとする空間に
- 管理がしやすく、便利な使い勝手と清潔感を備えた空間に



たとえばこんな `日常、`



朝ごはんプロジェクト

駅前広場でおにぎりを販売したり、お味噌汁やコーヒーを配ったり。

忙しい毎朝に少しのゆとりと元気を与える時間を。



くつろぎの空間

友達とちょっとおしゃべり。

待ち時間の暇つぶし。

子どものお迎え帰りにふらっと寄り道。

それぞれの日常にそっと寄り添う空間を。

メンバーが思い描く『非日常』の風景

04



まちの拠点に。 駅前新しい使い方

新しい使い方で、休日の駅前に小さな賑わいを

- 朝市やマルシェで、休日の日中も人々が集う空間に
- 夜市で大人が楽しめる空間に
- 参加型イベントで、子どもも大人も楽しめる空間に
- 季節や時間帯により様々な色合いをみせる空間に



たとえばこんな `非日常、`



朝市・ファーマーズマーケット

地元農家のお野菜を販売したり、コーヒーやパンを買って、ゆっくり、ゆったりくつろいだり。

休日の朝だからできる特別な時間。



ハンドメイドマルシェ

いつもの趣味を披露できる空間。
同じ趣味をもつ人どうしが交流したり、
新しい出会いが見つかったり。

いつもと違う使い方で新しい発見。

たとえばこんな `非日常、`



子ども参加型 `水かけ祭り、`

子どもが安心して遊べる空間に！

手ごろな価格帯で子どもたちが遊べるイベントを開催。

暑い時期はみんなで水かけ。季節やテーマに合わせたイベントができる空間。



ワンコインバー

駅について、ほっと一息。

都会の喧騒から離れて、ちょっとだけ大人な時間を。

新しい駅前に求めること

05



「やってみたい」 「使ってみたい」 が叶う空間

イベントや催しを企画した時、気軽に使える空間になるよう、従来の駅前空間の在り方から見つめ直し、プレイヤーの「やってみたい」「使ってみたい」が叶う空間をめざします。

忍ヶ丘 「らしさ」

エリア会議がたどり着いたのは、忍ヶ丘「らしさ」の実現。そこにあったのは、日常に寄り添う駅の姿でした。どんなにカタチを変えても、変わらず残すべきカタチがあります。

地域と一緒に 育む駅前空間

地域の子どもたちや、周辺の魅力的なお店。みんなで一緒に作り上げるその過程が、長く愛される駅前を作り上げます。行政だけではなく、民間だけでもなく、共に作り上げる過程を大切にします。